

# チームC

- 崔 陽 (上智大)
- 兒島清志朗(京都大)
- 高橋 航 (函館高専)

# 最終報告会

グループC

# 背景

## 視覚障害者の日常生活の問題点

- ・信号が青か赤か判断できない(音声信号機が少ない)
- ・点字が読めないひともいる
- ・大きなバス停だとどのバスに乗ればよいかわからない



障害者の交通事故の発生や生活の質低下

# 目標と提案アイデア

## 目標

周囲の交通状況をリアルタイムに障害者へ伝達することで、交通事故の防止や生活の質を向上させる

## 提案アイデア

公共交通機関、信号等の交通案内を包括したサーバと携帯端末をネットワークで結び、視覚障害者に端末で知らせる

**信号機や自動車・電車、携帯端末のネットワークの一体化**

# 提案システム

自動車や信号機から交通状況をサーバーで管理

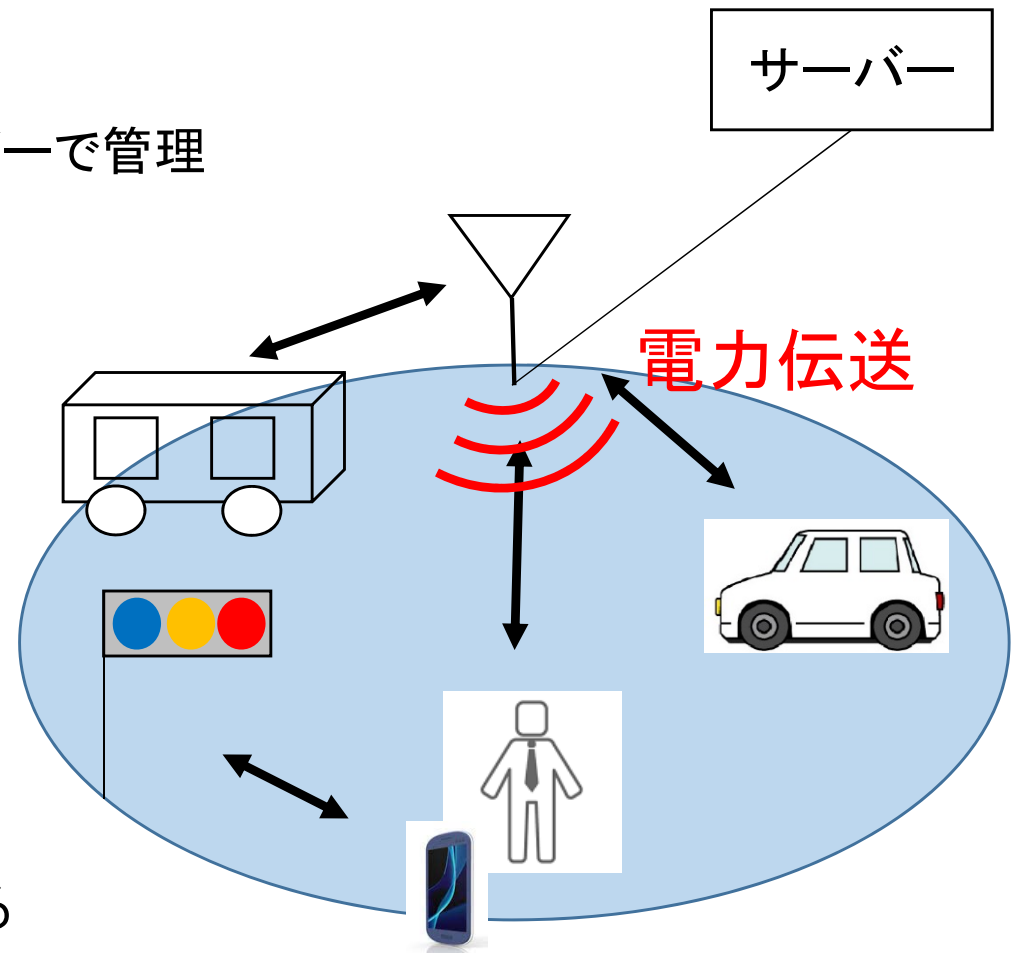


GPSから障害者の位置を検出し、  
周囲の交通状況を知らせる  
(構造計画研究)

例

- ・信号機の赤/青
- ・自動車やバスの種別

⇒ 端末を振動させる 音声で知らせる



## メリット

- ・従来では障害者のみでは把握できない交通状況の伝達
- ・一般人向けの新たなサービス展開の可能性

## デメリット

- ・端末のバッテリー ⇒ 無線電力伝送  
(龍谷大、京都大、宇宙システム開発利用)

Microwave Workshops & Exhibition

**MWE 2016**

Nov.30-Dec.2, 2016, Pacifico Yokohama, JAPAN